

# 『お子さんがゲームをしているときも、 保護者の方との繋がりを大切に』

～ お子さんがゲームやスマートフォンと上手に付き合うためには？～

## ポイント

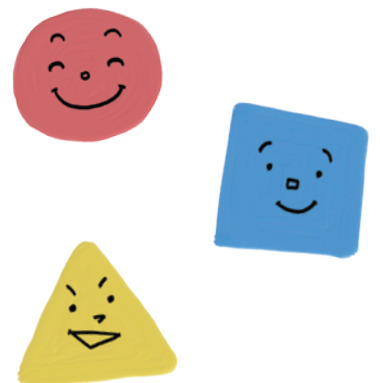
- 遊んでいる間もお子さんが親子の繋がりを感ぜられるよう、声をかけてみましょう！
- お子さんが一人で使えないよう、パスワードの変更など工夫してみましょう！

お子さんがゲームやスマートフォンに熱中して離さず、お困りの保護者の方は多いのではないのでしょうか。お子さんは、スマートフォンやゲームが『楽しさの宝庫』と知っているのです、簡単にはやめられません。そして、現代の生活の中で、ゲームやスマートフォンといった機器と関わらないのは難しいと思います。そこで、「ゲームやスマートフォンを害のあるもの」と決めつけず、保護者の方の膝の上や隣など、保護者の方の目の届く範囲でお子さんにゲームやスマートフォンを使わせるように工夫してはいかがでしょうか。



家事のために、ゲームなどをしているお子さんとずっと一緒にいるのは難しい時間帯もありますよね。その時は、是非「このあと、どうなったか教えてね。」等と声をかけて離れましょう。そして、家事をやりながらも、「どう？」とお子さんに声をかけて、お子さんが保護者の方との繋がりを感ぜられるようにするのもお勧めです。

テレビゲームなどは瞬発力や図形の理解能力を鍛えるのに役立つ面もあると思っています。大切なのは、「お子さんが保護者の方との繋がりを感ぜられるよう配慮しながら遊ばせること」「遊ぶ時間を含め、時間を管理してメリハリのある生活習慣を身につけること」ではないでしょうか。





お子さんは、大人が使っているのをよく観察して、ゲームやスマートフォンの使い方を学習しています。そのため、お子さんが一人で使えないよう工夫が必要です。ロック解除のパスワードを定期的に変更するのは一つの方法だと思います。

皆さんはスマートフォンでゲームをなさいますか？正直に申し上げますと、私も時々しますが、盛り上がって止められないことがあり、我に返ると「熱中するように、よく出来ているな」と感心します。ただ、お子さんは周りの大人のやっていることをよく観察していることを忘れてはいけません。街に出ると、スマートフォンを触ってばかりの大人を多く見かけます。私たち大人がスマートフォンの使い方を見直すことも大切ですね。

…次回のコラム…

「ゲームやスマートフォンの時間管理のコツ」について



幼児教育の専門家



聖徳大学・聖徳短期大学 名誉教授  
学研アカデミー保育士養成コース 校長

**加藤 敏子 先生**

児童学修士  
聖徳大学大学院児童学研究科教授・聖徳大学児童学部教授として後進の育成に当たる。  
東京都世田谷区立保育園園長などを歴任し、現職。

「お外でたくさん遊ぶこと」や「正しい姿勢での読書」などは、近視が進むことを防ぐ『目に負担の少ない生活』と伺いました。日々の生活の中で、お子さんにそのような生活習慣をどのように促すか、お悩みの保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。幼児教育に60年以上携わった私の経験から得たヒントが、お役に立てば幸いです。